

【関鉄自動車工業株式会社　SDGs達成に向けた目標及び取組】

グループ 行動指針	SDGs のゴール	SDG s のターゲット		具体的実施計画と取組	長期目標 (2030年)	関鉄ビジョン100
安全	8働きがいも 経済成長も 	8.3	働きがいのある人間らしい仕事を増やしたり、会社を始めたり、新しいことを始めたりすることを助ける政策をすすめる。特に、中小規模の会社の設立や成長を応援する。	労働災害防止活動の推進を図り、従業員の健康の確保、快適に働くことのできる職場づくり	・働きがいのある労働環境を整備し、従業員が心身ともに健康な状態で、業務に取り組むことで、持続可能な高い生産性を実現し、業績、企業価値の向上を図る	●安全・安心な輸送サービスの提供 ▶運輸安全マネジメント体制の深化 ▶死傷事故ゼロ ●災害に強い事業運営体制を確立
接客	11住み続けられる まちづくりを 	11.3	2030年までに、だれも取り残さない持続可能なまちづくりをすすめる。すべての国で、だれもが参加できる形で持続可能なまちづくりを計画し実行できるような能力を高める。	顧客ニーズに対応した車両整備・車両販売の提供	・顧客ニーズを的確にとらえ必要な修理、交換時期の提案を的確に行うことで、顧客満足度の向上を図るとともに地元の顧客、地域との繋がりを強化し、トータルカーライフをサポートする営業を展開する	●多様化するお客様ニーズへの対応 ●地域ナンバー1の接客レベルを実践
成長	9産業と技術革新の 基盤をつくろう 	9.1	すべての人のために、安くて公平に使えることを重視した経済発展と福祉を進めていけるように、質が高く、信頼でき、持続可能な、災害などにも強いインフラをつくる。それには、地域のインフラや国を越えたインフラも含む。	各種行政手続の電子化		●活力がある地域社会の実現 ●効率的で生産性の高い地域公共交通ネットワークの形成
環境	11住み続けられる まちづくりを 	11.6	2030年までに、大気の水質やごみの処理などに特に注意をはらうなどして、都市に住む人（一人当たり）が環境に与える影響を減らす。	工場周辺の環境保全、産業廃棄物の適切な処理	・2030年においても普遍的に環境保全に関する左記事項を実施していく最新の環境負荷軽減技術が導入された車両の整備技術を取得し、間接的に環境保護に貢献する	●環境問題に取り組む事業運営の推進 ●環境負荷の低減
				リサイクル部品の活用		